

「転倒・転落」防止のための
離床センサー内蔵式見守り機能付き
静止型マットレス

テルサ コール

取扱説明書

目次



注意事項	P1
各部名称	P2
機能	P2
設置方法	P3
見守りスイッチについて	P5
コードケーブル収納方法	P6
運搬・保管方法	P6
お手入れ方法	P7
このようなときには	P8
仕様	P11

安全にお使いいただくために

この度は当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前に取扱説明書を確認の上、正しくお使いください。確認後は、本取扱説明書を大切に保管してください。また患者様の身体状況や環境が変化した場合には、医師または看護師などの医療従事者に相談し適切な処置を受けてください。

安全上の注意 必ずお守りください

①患者様や他の人への危害・財産への損害などを未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

取扱説明書に表示されている記号や用語は、表示内容を見逃し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のような表示区分であらわしています。

⚠ 警告：死亡または重傷などを負う可能性を意味します。

⚠ 注意：障害を負うまたは物的損害を発生させる可能性を意味します。

注意：本製品の故障を防止するための注意事項や、より満足に使用していただくためのアドバイスを意味します。

②お守りいただく内容の種類を次の表示区分であらわしています。

⊘：してはいけない「禁止」を意味します。

Ⓜ：必ず実行していただく「強制」を意味します。

注意事項



警告 ※死亡または重傷などを負う可能性を意味します。

- ①使用中、患者様の体に異常を感じたり不安を感じた場合には、直ちに使用をやめ、医師または看護師などの医療従事者の指示に従ってください。
- ②本来の目的以外に使用しないでください。
思わぬ事故やケガをまねくおそれがあります。
- ③見守りセンサーは患者様の離床を見守るうえでの手助けをするものです。安全を保証するものではありませんのでご注意ください。また、患者様の動きによっては見守りセンサーが検知しない場合がありますのでご注意ください。
- ④見守り機能を使用する場合は、設置後に必ずセンサーを検知させ、ナースコールで正しくお知らせされるか確認してから使用してください。
- ⑤体重が30kg前後の軽い方や動作のゆっくりな方などは、見守りセンサーが検知しない場合がありますので、検知することを確認の上、使用してください。
検知しない場合は、使用しないでください。
- ⑥センサー範囲に硬い防水シートなどを設置しないでください。見守りセンサーが検知しない場合があります。
- ⑦インナーフィルムは取り外さず、そのままの状態で使用してください。
ファスナーを開け閉めする場合は、インナーフィルムをはさみ込まないよう注意してください。
- ⑧マットレスは必ず電源コードおよびナースコールケーブルが頭側になるように設置してください。
断線・破損につながるおそれがあります。
- ⑨使用時はカバーのファスナーをしっかりと締めたことを確認してください。
端座位のお知らせができず、事故のおそれがあります。
- ⑩電源プラグやナースコールケーブルは確実に接続してください。
端座位のお知らせができず、転倒転落のおそれがあります。
- ⑪見守りセンサーを使用しない場合も、必ず電源コードは接続して使用ください。
電源が入っていない場合は、端座位が不安定になり転落のおそれがあります。
- ⑫電源コードおよびナースコールケーブルが患者様周辺および取り付けにあるコードや点滴チューブなどに、からまないよう十分注意してください。
思わぬ事故やケガをまねくおそれがあります。
- ⑬電源コードおよびナースコールケーブルはベッドのキャスターや可動部分にはさみ込まれることがないように、配線の取り回しにご注意ください。
火災・変形・破損につながるおそれがあります。
- ⑭電源プラグを濡らしたり、燃えやすい物を近くに置かないでください。
感電・やけど・火災につながるおそれがあります。
- ⑮電源コードを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。
感電・やけど・火災につながるおそれや故障の原因になります。
- ⑯電源コードは、プラグを持って抜き差ししてください。
電源コードのみを持って引き抜くと、コードが傷んで感電するおそれがあります。
- ⑰電源プラグにホコリを付着させないでください。付着している場合は、乾いた布などでよく拭き取ってください。
電源プラグの表面にホコリが付着していると、発火するおそれがあります。
- ⑱タコ足配線はしないでください。
故障や発熱による事故につながるおそれがあります。
- ⑲コントロールBOXおよび電源プラグ、見守りスイッチに水やその他液体をかけたり、濡れた手で触ったりしないでください。
感電・やけど・火災につながるおそれがあります。
- ⑳付属の電源コードおよびナースコールケーブル以外は使用しないでください。
誤作動や故障の原因になります。
- ㉑コントロールBOXおよび見守りスイッチの修理・改造はしないでください。
発火や誤作動などにより事故やケガをするおそれがあります。
- ㉒感染患者様が使用した後に別の方が使用する場合は、事前に適切な消毒処置を行ってください。
- ㉓見守りスイッチをお手入れする場合は、必ず電源プラグをコンセントから外してください。
感電・やけど・火災の原因になります。



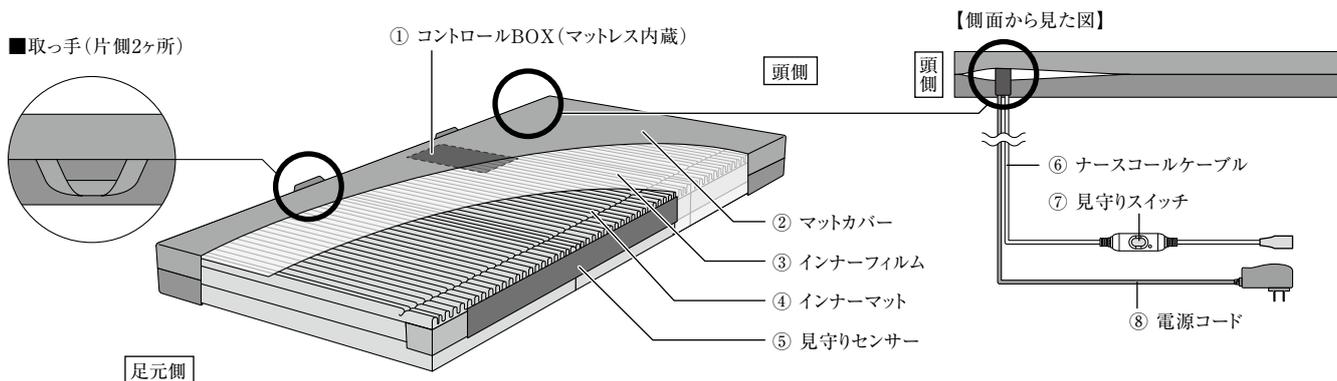
注意 ※障害を負うまたは物的損害を発生させる可能性を意味します。

- ①マットレスの上や下に突起物を置かないでください。
マットカバーの破れなどの原因になります。
- ②ナースコール接続用プラグは銅合金を使用しています。塗装が剥がれた場合は、肌に触れるおそれがありますので、金属アレルギーの方はご注意ください。
- ③移動する場合は、電源コードおよびナースコールケーブルの接続を取り外したことを確認して行ってください。
- ④マットレスを持ち運ぶ場合や保管時には、電源コードとナースコールケーブルをマットレス内におさめてください。
落下やほこり、静電気などにより故障するおそれがあります。
- ⑤マットレスを落下させたり、ぶつけたりしないでください。
コントロールBOXおよび見守りスイッチの故障や破損、寿命低下の原因になります。
- ⑥浴室付近や湿気の多い場所での使用および保管はしないでください。
サビ・カビの発生や故障の原因になります。

各 部 名 称

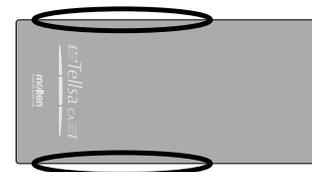
以下の部品が全てそろっているか、破損・変形などしていないかを確認してください。

万が一、部品の不足・破損があった場合は、(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご連絡ください。



【見守りセンサー位置】

品番：MTLSCA1283SP/MTLSCA1291SP
(左右各2ヶ所)



※インナーフィルムは取り外さず、そのままの状態で使用してください。

ファスナーを開け閉めする場合は、インナーフィルムをはさみ込まないよう注意してください。

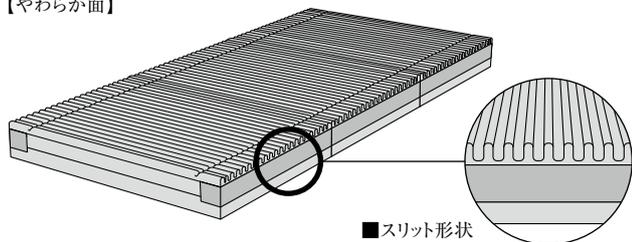
機 能

〈リバーシブルによる選択〉

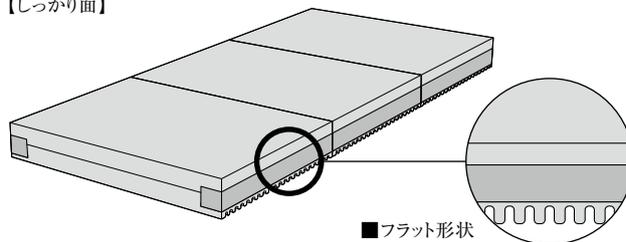
体全体を優しくつつみ込む【やわらか面】と、体の沈み込みをおさえ寝返りのしやすい【しっかり面】の異なる質感を選ぶことができます。

※【やわらか面】と【しっかり面】の判別は、カバーのタグに記載してあります。

【やわらか面】

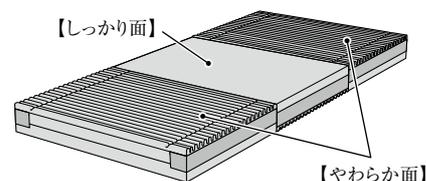
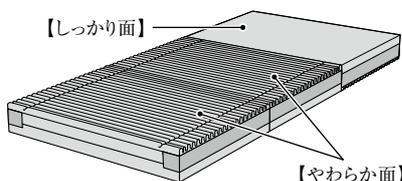


【しっかり面】



〈部分交換による選択〉

マットレス内部は3つのインナーマットから構成されており、【やわらか面】と【しっかり面】を部分的に組み合わせ、異なる質感を選ぶことができます。



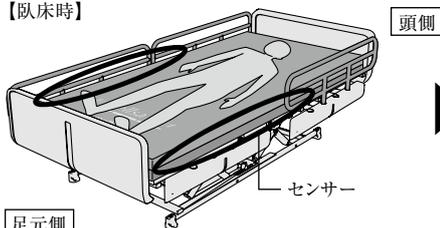
〈『端座位』姿勢を通知〉

マットレスの両サイドに内蔵したセンサーが端座位での圧力変化をとらえ、離床の可能性があると判断し、ナースコールを通してお知らせします。

【端座位での圧力変化を捉え、離床の可能性があると判断】

【事故やトラブルを未然に防ぐ対応が取れます】

【臥床時】



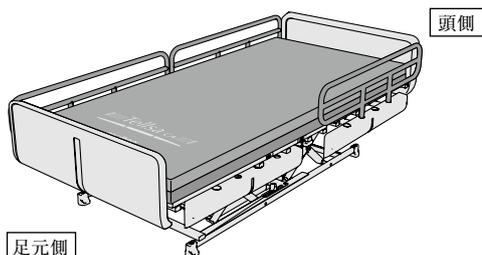
【端座位時】



離床の可能性を判断して
ナースコールでお知らせ
します。

設置方法

1 マットレスの設置



【しっかり面】と【やわらか面】を確認して、ベッドの上に直接マットレスを置いてください。また、マットレスは必ず電源コードおよびナースコールケーブルが頭側に出るように設置してください。

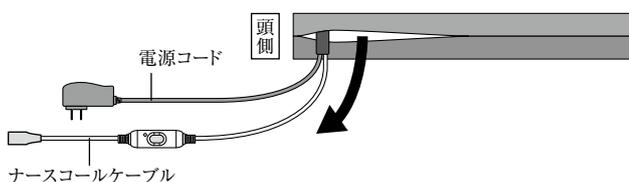
※断線・破損につながるおそれがあります。



警告

- ① 転落・転倒のおそれがある人は、安全のためベッド付属品のサイドレールやベッド用すりを使用してください。
- ② サイドレールはマットレス上面より22cm以上高さのある物を使用してください。

2 コンセントに接続



- ① マットカバーの側面頭側を開いて、電源コードおよびナースコールケーブルを取り出します。
- ② 電源プラグをコンセントへつなぎます。
- ③ 電源コードおよびナースコールケーブルを取り出した後、マットカバーを閉めてください。

※インナーフィルムは取り外さず、そのままの状態で使用してください。
ファスナーを開け閉めする場合は、インナーフィルムをはさみ込まないよう注意してください。



警告

見守りセンサーを使用しない場合も、必ず電源コードは接続して使用ください。電源が入っていない場合は、端座位が不安定になり転落のおそれがあります。

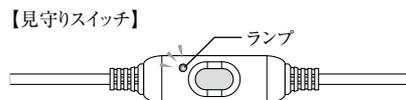
3 ナースコールに接続

- ① 準備した分配器およびナースコールコンセントの接続プラグの種類を確認してください。

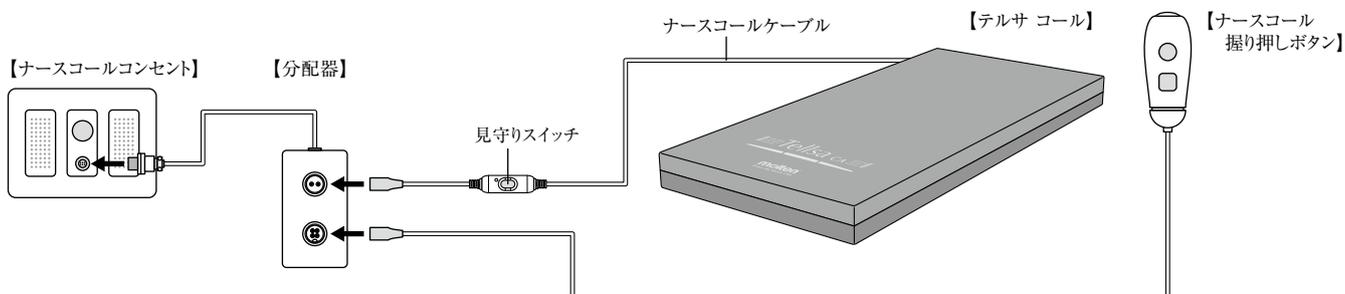
※テルサコールのナースコールケーブルの接続プラグは14型2Pです。

- ② ナースコールケーブルを準備した分配器の所定の位置へ接続してください。
- ③ ナースコールケーブルの見守りスイッチのランプが点灯しているか確認してください。

※ランプが点灯しない場合は、P5「見守りスイッチについて」を参照してください。



分配器に接続する場合

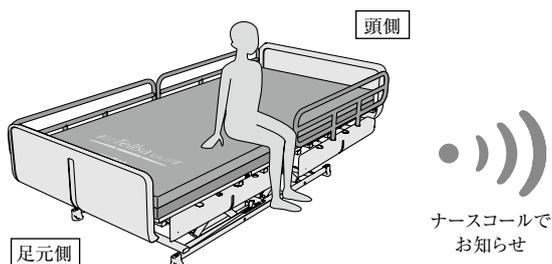


警告

各接続プラグは接続口に対し、まっすぐ確実に挿し込んでください。接続不良の原因となり、正しくナースコールでお知らせできなくなる可能性があります。

設置方法

4 見守りセンサーの確認



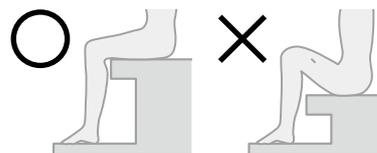
実際に使用する状態で離床センサーを検知させ、ナースコールで正しくお知らせすることを確認してください。

見守りセンサーが端座位の圧力変化をとらえ、離床の可能性を判断してナースコールでお知らせします。

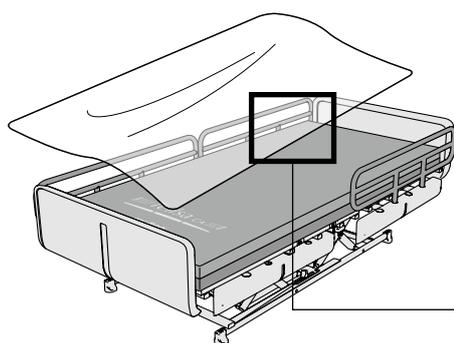
- ①使用前に見守りセンサーの検知の確認を必ず行ってください。
- ②体重が30kg前後の軽い方や動作のゆっくりな方などは、見守りセンサーが検知しない場合がありますので、検知することを確認の上、使用してください。
※検知しない場合は、使用しないでください。
- ③離床時にベッドの高さが低すぎる場合は、見守りセンサーが反応しません。必ず検知する高さまで上げてください。
※就寝中にベッドから落ちた時の衝撃を少なくするために低床ベッドがありますが、離床時には立ち上がりやすい高さに調整する必要があります。ベッドを低床にした状態では、膝が太ももよりも高いので見守りセンサーが反応しません。さらに利用者様には立ち上がりにくいといます。
適切なベッド高さは【ひざの角度が90度になる高さから+5cm程度】です。



警告



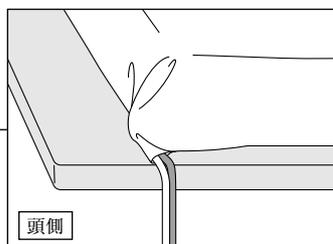
5 シーツの取り付け



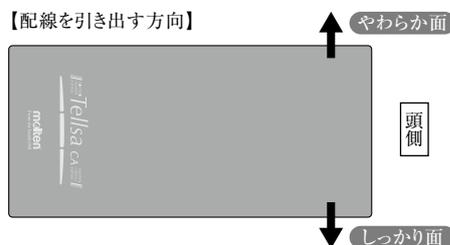
電源コードおよびナースコールケーブルはマットレスの頭側端部から側面方向へ出るようにシーツを取り付けてください。

ベッドフレームやサイドレールなどに挟み込まれないように床へ配線してください。

※配線を引き出す方向は、見守りセンサーを内蔵しているインナーマットの中央部を基準に決めます。



【配線を引き出す方向】



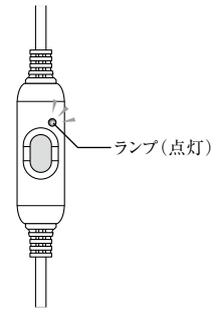
- ①電源コードおよびナースコールケーブルを出す頭側はシーツを三角折りにせず取り付けてください。
- ②配線後に必ずベッドの背上げ動作をおこない、電源コードおよびナースコールケーブルがベッド稼働時にフレームやサイドレールに引っ掛かったり、はさみ込まれたり、引っ張られていないか確認してください。
- ③センサー範囲表示の周りには、硬い防水シートやクッションなどを設置しないでください。見守りセンサーが検知できないおそれがあります。
- ④電源コードおよびナースコールケーブルが患者様周辺および取り付けであるコードや点滴チューブなどに、からまないよう十分注意してください。思わぬ事故やケガをまねくおそれがあります。



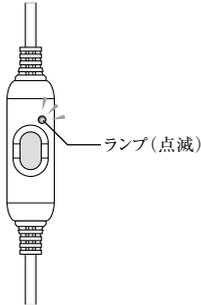
警告

見守りスイッチについて

ベッド周りのケアや作業で一時的に見守りセンサーを【OFF】にすることができます。
見守りセンサーが【ON】の状態の場合は、ランプが点灯しています。

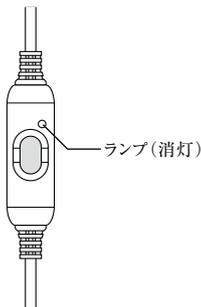


見守りセンサーを一時的に【OFF】にする場合(ワンタッチタイマー機能)



- ①見守りスイッチのボタンを押すと見守りセンサーが一時的に(約10分間)【OFF】の状態になります。
- ②設定後、スイッチのランプがゆっくりとした点滅(2秒点灯・1秒消灯)をします。
※点滅中にボタンを押すと【ON】の状態に戻ります。
- ③設定後10分経過すると、自動的に【ON】の状態に復帰し、ランプが点灯します。

見守りセンサーを【OFF】にする場合



- ①見守りスイッチのボタンを2秒間長押しすると【OFF】の状態になります。
- ②設定後、スイッチのランプが消灯します。
- ③見守りスイッチのボタンを押すと【ON】の状態に戻ります。



警告 見守りセンサーを【OFF】にした場合は、作業後に必ず【ON】の状態に戻し、ランプが点灯していることを確認してください。

注意

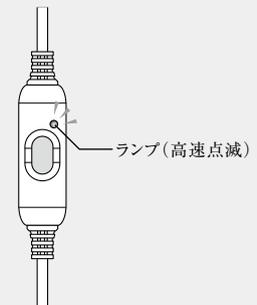
見守りスイッチはナースコールの呼び出しのスイッチではありません。

〈エラー表示〉1秒間に5回の高速点滅を繰り返し、ナースコールにお知らせします。

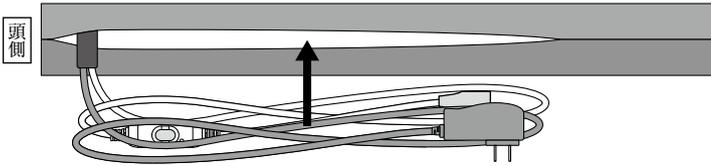
見守りセンサーの異常を知らせるエラー表示です。

エラー表示が出た場合は、(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口へご連絡ください。

※ボタンを押すと表示はリセットされ再起動になります。異常がある場合は、再度ナースコールにお知らせします。



コードケーブル収納方法

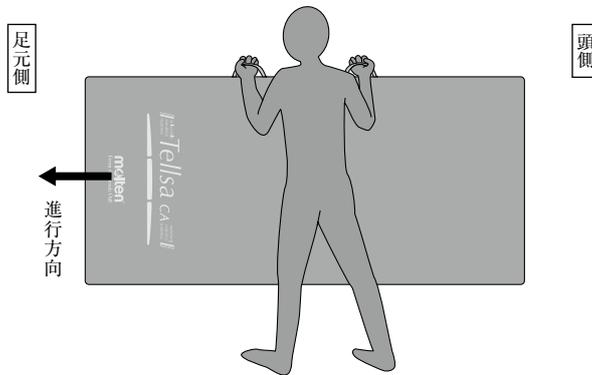


電源コードおよびナースコードケーブルは、束ねた状態で側面ファスナーの内側へ収納してください。

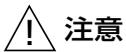
※インナーフィルムは取り外さず、そのままの状態で使用してください。
ファスナーを開け閉めする場合は、インナーフィルムをはさみ込まないよう注意してください。

運搬・保管方法

運搬する場合は、下図のように取っ手を持ってください。



- ⊗ 見守りセンサーおよび内部のコントロールBOXの破損につながるおそれがあるので、マットカバーの表側を持って運搬しないでください。
- ⊗ 変形や破損のおそれがあるので、折りたたんだり丸めた状態で運搬や保管をしないでください。
- ⊗ 変形や破損のおそれがあるので、重量物を上に置いたまや、マットレスを積み重ねて保管しないでください。
- ⓪ 材質や色が変わるおそれがあるので、直射日光の当たらない場所で保管してください。
- ⓪ 電源コードおよびナースコードケーブルをマットレス内におさめてください。



注意

- ① 移動する場合は、電源コードおよびナースコードケーブルの接続を取り外したことを確認して行ってください。
- ② 浴室付近や湿気の多い場所での使用および保管はしないでください。
※サビ・カビの発生や故障の原因になります。

お手入れ方法

汚れの落としかた

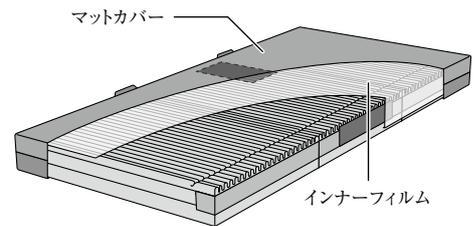
汚れが少ない場合は、マットカバー表面を水またはお湯を染み込ませた布で汚れた部分を拭き取ってください。もしくは市販の中性洗剤やアルコールを布に含ませて清拭してください。

汚れがひどい場合は、マットカバーを取り外し、洗濯機などで丸洗い洗浄してください。

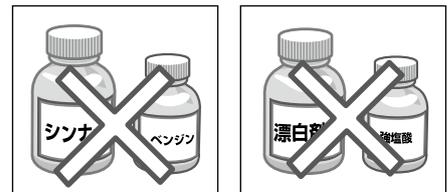
洗浄後は乾燥機による乾燥または陰干ししてください。

※インナーマットは洗浄できません。

インナーフィルムは中性洗剤、またはアルコールを布などに含ませて汚れを取り除いてください。



- ⊗ シンナーやベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- ⊗ 酸性洗剤は素材を傷めるおそれがあるので使用しないでください。
- ⊗ 漂白剤は色落ちや変色の原因になるので使用しないでください。
- ⊗ マットカバーが縮むおそれがあるのでドライクリーニングはしないでください。
- ① マットカバーを洗濯機で洗う場合は、キズが付くおそれがあるのでネットを使用してください。
- ① マットカバーを洗浄・乾燥する場合は、縮むおそれがあるので洗浄水温は40℃以下、乾燥温度は80℃以下で行ってください。
- ① 塩素系洗剤を使用する場合は、変色するおそれがあるので200～300倍に薄めて使用してください。



消毒のしかた

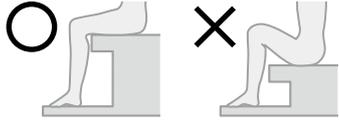
消毒薬やアルコールを噴霧または布に染み込ませて表面を清拭してください。

- ⊗ 次亜塩素酸ナトリウムを使用する場合は、変色するおそれがあるので、200～300倍に希釈して使用してください。

お手入れ後の保管

- ⊗ 変形や破損のおそれがあるので、重量物を上に置いたまま保管しないでください。
- ⊗ 折りたたんだり、丸めたりしないでください。
- ① カビなどが発生するおそれがあるので、汚れを取り除き、よく乾燥させてから保管してください。
- ① 材質や色が変わるおそれがあるので、直射日光に当たらない場所で保管してください。

このようなときには

現 象	確認方法	処 置
見守りスイッチのランプが消えている	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	マット内のコントロールBOXの電源コードおよびナースコールケーブルの接続が外れていませんか？	コントロールBOXの電源コードおよびナースコールケーブルの接続をしてください。
	見守りスイッチが【OFF】になっていませんか？	見守りスイッチを【ON】にしてください。(P5参照)
ナースコールが鳴らない	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	マット内のコントロールBOXの電源コードおよびナースコールケーブルの接続が外れていませんか？	コントロールBOXの電源コードおよびナースコールケーブルの接続をしてください。
	ナースコールケーブルは接続されていますか？	ナースコールケーブルをナースコールコンセントまたは分配器に接続してください。(P3参照)
	各接続プラグのピンが破損していませんか？	破損しているケーブル・分配器を交換してください。(P3参照)
	見守りスイッチを【OFF】にしたままになっていませんか？	見守りスイッチを【ON】にしてください。(P5参照)
	見守りセンサーが一時停止になっていませんか？ (見守りスイッチが点滅)	10分経過すると自動的に【ON】の状態に復帰し、ランプが点灯します。 (P5参照)
	エラー表示になってませんか？ (見守りスイッチが高速点滅)	㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口へご連絡ください。
	体重の軽い患者様が使用されていませんか？	体重が30kg前後の軽い方や動作のゆっくりな方などは、見守りセンサーが検知しない場合がありますので、検知することを確認の上、使用してください。検知しない場合は、使用しないでください。
	動作がゆっくりな方が使用されていませんか？	動作がゆっくりな方などは、見守りセンサーが検知しない場合がありますので、使用しないでください。
	体動や起き上がりではありませんか？	本製品はセンサーで端座位姿勢による圧力変化を検知し、お知らせします。 体動や起き上がりなどを検知し、見守るセンサーではありません。
	センサー範囲の周りに硬い防水シートやクッションなどを設置していませんか？	センサー範囲には硬い防水シートやクッションなどを設置しないでください。
患者様に対して、 ベッドの高さが低すぎませんか？	ひざ裏にすき間がないようにベッドの高さを適切な高さにしてください。 	
端座位になっていないのに ナースコールが鳴る	患者様がベッドに戻った時に鳴っていませんか？	見守りセンサーの一時停止を使用してください。(P5参照)
	重たいものをセンサー範囲表示の周りに置いていませんか？	センサー範囲表示の周りから取り除いてください。
	患者様以外の方がベッドの乗り降りをしたり、シーツ交換などをしていませんか？	見守りセンサーの一時停止を使用してください。(P5参照)
	足など体の一部分がベッドからはみ出していないですか？	転落のおそれがありますので、姿勢を直してください。
	各接続プラグのピンが破損していませんか？	破損しているケーブル・分配器を交換してください。(P3参照)

上記の処置で直らなかった場合は、㈱モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口までご相談ください。

株式会社 モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口
TEL(082)842-9975

テルサ コール仕様

用途	見守り機能(端座位通知)／体圧分散式 静止型マットレス	
品番	MTLSCA1283SP	MTLSCA1291SP
一般的名称	見守り機能付き静止型マットレス	
サイズ [cm]	幅	83 / 91
	長さ	191
	厚さ	12
重量	7.5	8.0
素材	アウターカバー部	ウレタン合皮(防水・清拭、制菌加工)
	マット	ウレタンフォーム
	インナーフィルム	ウレタンフィルム
見守り部仕様	●電圧：AC100V 50/60Hz ●消費電力：5W ●電気代目安：0.6円/日 センサー範囲：中央～足元部(広範囲)	

●記載されている製品の仕様、外観は改良のため許可なく変更することがありますのでご了承ください。

開発・製造元 ISO9001 認証取得 ISO13485 認証取得 <small>※床ずれ防止マットレス・体動センサの設計、製造および付帯サービスにて取得</small> 本製品の取扱説明書は下記QRコードからダウンロードいただけます。  取扱説明書	株式会社 モルテン 健康用品事業本部 www.molten.co.jp/health 東京 札幌 仙台 埼玉 名古屋 大阪 広島 福岡 <small>製品他、各種お問い合わせは</small> 〒733-0036 広島市西区観音新町四丁目10-97-21 TEL.082-578-9226 E-mail:health@molten.co.jp <small>〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日/9:00～17:00 ※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く</small>
---	--